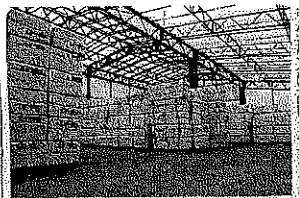


梱包用ホブラLVL輸出拡大 国産材足掛かりに信頼築く

瀬崎 健



主に取り扱っている量の増加に合わせて、3
のは、厚さ80×長さ 工場目を検討してい
4級の定番サイズである。いずれも山東省エ
要望に合わせて細かいリアの工場で、日本市
サイズの注文にも対応。場が要求する品質に見
ている。現在の取扱量 合ったLVLを生産で
は月間約1000立方 みる体制を整う。
材となっており、年内 ポプラLVL輸入事
業は、国産材丸太の中
に同2000立方がま 届向け輸出をきつかけ
で増やすことを視野に 届向け輸出をきつかけ
入れている。
現在、2工場から仕 深めて開始した。丸太
入っており、西工場と 輸出で増えた現地企業
も生産力は高い。取扱との信頼関係は厚く、

品質や供給量の確
保にも役立ってい
る。
何社も、梱包用
LVLのメリット
を挙げて、熱処理不
要による低コ
ストを挙げる。同
社の場合、現地と
LVLが市場に定着す
る土台は整っている。
同事業は、国産材輸
出事業、チリ産ラジア
を図っていく。

また梱包対象によっ
ては資材の呼びの問題
から、対処法としてL
VLが使われることも
ある。さらに中国向け
で、チリ産材事業は川
崎港に熱処理施設を新
築導入するなど、いず
れも好調だ。LVL事
業でも、国内販路を東
西問わず開拓し、拡大